

事務事業	11018	子育て支援センター運営事業	担当課	子育て支援課	担当係	子育て支援係
------	-------	---------------	-----	--------	-----	--------

計画 後 期 体 計 系 画	施策	05	子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	140 子育てに関する情報提供や相談・交流できる環境をつくる			款	3	民生費
					項	3	児童福祉費
					目	6	子育て支援事業費
法令根拠条例等				個別計画			

実施期間	<input type="checkbox"/> 30年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	H27 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～	年度
------	---------------------------------	---	------------	------------------------------------	-----	----

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 未来の担い手と共に育つまちとして子育て支援の充実の一環として、安心して子育てができるように支援するためにセンターを設立した。子育て支援に関する相談業務全般、はなまるポケット管理や講座やサロンの開催、保育施設や子育てサークル情報の提供などを行い、子育てがしやすい環境作りに取り組んでいく。		<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 施設の維持管理、嘱託職員の賃金支払い、連絡調整等		主 な 事 業 費 の 内 訳	消耗品費
			80 千円
			講座運営委託料
			85 千円
			託児謝礼金
			20 千円
			普通旅費
			6 千円
			千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・子育て情報の収集 ・講座の準備等	事務事業の目的
② 対象(誰、何を対象にしているのか) ・地域の子育て支援に関係・関心のある方 ・18歳未満の子どもとその保護者など	
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 子育てに関する不安を取り除くために、子育てに関する情報や知識を提供することで、子育て中の親の子育てに関する不安を取り除き、子どもが健やかに成長できる	

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア センター相談回数	回	521	674	400 (見込)	
イ 講座の開催回数	回	26	104	110 (見込)	
ウ				(見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		指標数値			
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア 18歳未満の子どもの数	人	8,978	9,012	9026 (見込)	
イ				(見込)	
ウ				(見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		指標数値			
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア センター来所者数	人	目標	1,000	5,000	5,500
		実績	4,934	5,526	
イ		目標			
		実績			
ウ		目標			
		実績			
エ		目標			
		実績			
オ		目標			
		実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等	3,366	3,404	3,620	5,052	4,980	4,980
		受益者負担等						
		一般財源	1,620	1,703	1,008	2,532	2,494	2,494
		合計(A)	4,986	5,107	4,628	7,584	7,474	7,474
		(内臨時・嘱託職員人件費)	4,479	4,656	4,436	6,769		
	正職員人件費[按分](B)	1,707	2,071	2,256	1,851			
トータルコスト(A)+(B)		6,693	7,178	6,884	9,435	7,474	7,474	

事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
子ども子育て支援制度の利用者支援事業に則り、子どもと保護者等、または妊娠している方が子育て支援を円滑に利用できるよう、情報提供及び必要に応じ、相談・助言等を行い、関係機関との連絡調整、支援する機関として、平成27年7月に立ち上げ。	保育所待機児童が増え、子どもを持つ保護者が支援をしてほしくてもしてもらえない状況がみられる。	特になし

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	徐々に利用の定着が見られてきた。今後も利用者の要望を聞き入れ講座等増やすことができる。	<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	子育てに関するアドバイスを必要とする人が、様々な情報を得ることができることは、安心して子どもを育てることができることにつながる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	子育てに不安を抱える保護者が孤立するのを防ぐためにも、町が支援していく必要がある。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	徐々に利用の定着が見られてきた。今後も利用者の要望を聞き入れ講座等増やすことができる。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	利用者がいるため、廃止すると子育て支援に支障をきたす。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	28年度からの始動し、利用者ニーズを確認しながら、教室を実施している。そのため、一つの講座に対してのコストは削減できても、全体的な講座やイベントを追加しているため全体的なコスト削減は難しい。

(2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

保護者同士のふれあいの場、情報交換の場となっている。 また、遊びに来た時にちょっとした相談がいつでもでき、必要な情報を提供できる体制を整えることで、保護者の育児に対する不安の軽減につながっている。 講座開催にあたっては、参加者やセンター利用者に対しアンケートを行う等して、ニーズを把握し、適宜講座内容の見直しを行っている。 平成30年度は子育ての講座になかなか参加しづらいパパ向けに、遊びに来たまま参加できる読み聞かせを実施した。 今後も支援センターを中心に安心して子育てができるような地域づくりを目指して、さらなる事業の充実を図る。

3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	子育て支援センターが町の中央部にあるため、小さい子がいるが町の西側と東側の住民がセンターに来れない状況にあるとの意見もある。 しかし、地域でのサロンなどがなかなか根付かないため、それぞれの地区にある中学校を使ってサロンを開催することにより、より広く町民に、子育てに関する情報提供や相談・交流できる環境がつけられる。